

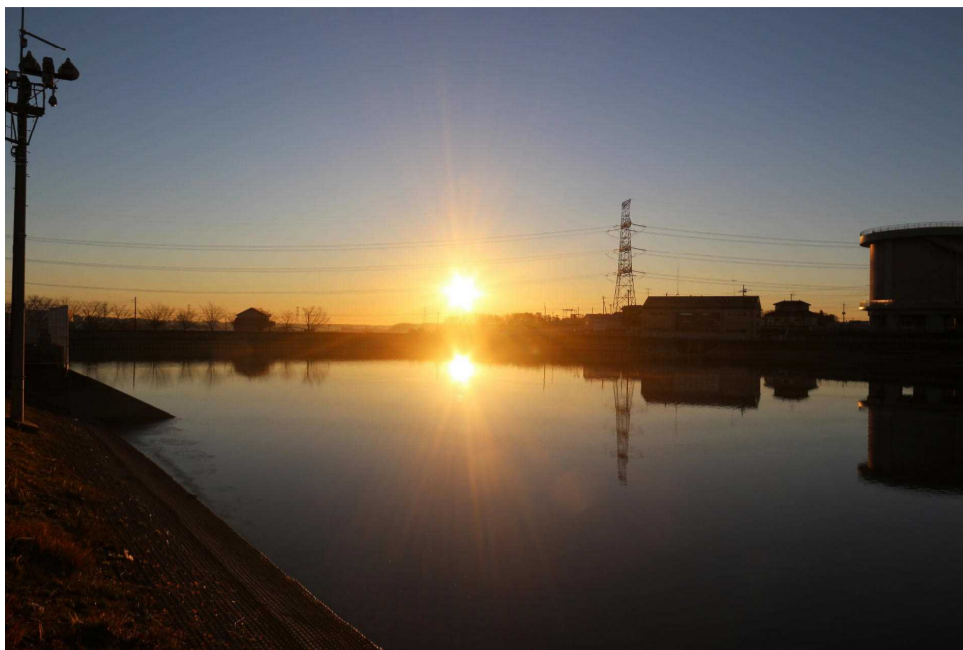
# ふきの芽

第287号  
 【発行日】  
 令和3年  
 1月25日  
 【発行者】  
 八俣ふきの芽会  
 茨城県古河市  
 山田 317-3  
 Tel 090 2234 6965  
 Fax 0280-78-2429

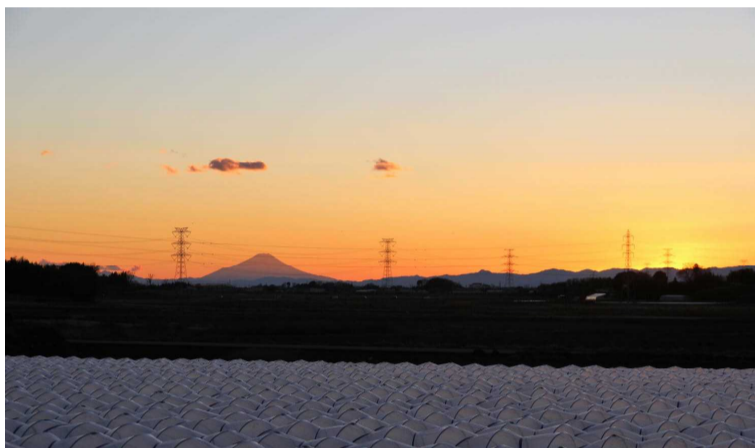


寒風の中、金色に輝く蟬梅に思わず足を止める  
 県内に初雪の報が届いた、1月24日、県道沿いに満開の蟬梅の花が辺りを黄色に染めて咲き誇っていた。

谷貝北の初見照雄さん宅の門前に、15年程前に植えたという蟬梅の花が満開となり道行く人々の心に潤いを与えてくれた。全く花の無いこの季節に目を疑う光景に出会った。写真下は初見さんと満開の蟬梅甘い香りが春の到来を告げる。



## ゆく年くる年



令和3年が雲一つない穏やかな中でスタートした。八俣の大地にも午前6時50分、光り輝くご来光が始まり、静寂の中、厳かに年明けを告げた。(写真上)



用意するなど、コロナ対策に万全を期して臨んだ。写真左は、0時6分に鐘を突く皆さん。響き渡る除夜の鐘の音に、それぞれがコロナの収束を願う強い思いを込めていた。

谷貝遍照寺では、例年通り「猿島囃子」を奉納し、令和3年が地域のみなさんにとって安心安全、さらに繁栄することを願って、力強く打ち鳴らされた。写真下0時18分

### 万全のコロナ対策で初詣客を迎える 谷貝遍照寺

谷貝の遍照寺では、服部住職さんの「こんな時代だからこそみんなで新年を祝いたい」という強い思いとそれに賛同した谷貝囃子会のメンバーにより、例年通り初詣客をお迎えすることになった。除夜の鐘を突く際には、ビニールの手袋を



山田久昌院では、家族連れで初詣をする姿が多く見られた。写真右、0時39分撮影



谷貝青年会でも、例年通り香取神社の初詣客を甘酒などを用意して接待を行った。写真右下、なお、沼影の八坂神社などはコロナウイルス感染症対策のため本年は接待を自粛した。世界中がコロナ対策と収束を願う超厳しい年明けとなっているが、人類が英知を結集して対応し2021年が素晴らしい年になること願う年頭であった。



### クリーンアイ

辛丑(かのとうし) 令和3年(かのとうし) 元日に初日の出を迎えるために例年通り長左門新田が見下ろせる西仁連川の土手の縁に赴いた。毎年、地平線には雲があり太陽が顔を隠すのは日の出の時刻から30分ほど経たないと拝めないのが常である。ところが今年初めの体験であったが、地平線に全く雲は見当たらず、ダイレクトに太陽の顔を覗かせた。

おかげで、写真撮影の時に眩しくてファインダーが覗けなかった。偶然であろうが、雲一つない地平線からのご来光に感動し、幸先の良さを実感したものである。

しかしながら、帰宅するとテレビでは、コロナの爆発的な感染を報じるニュースが溢れ、折角の晴れやかな気分も半減してしまっただ。

今年(かのとうし)は千支である。丑年の順番がなせ2番目なのか、については、十二支についてよく知られている物語がある。昔、神様が元日に挨拶に来た12番目までの動物を順番に、一年間その年のリーダーにしよう、というお触れをした。牛は自分が歩くのが遅いことを知っていたので誰よりも早く、前の晩のまだ暗いうちに出発するのですが、牛の背中に乗ってやってきたねずみが神様の御殿の門が開いたとたん飛び降り1番に。残念ながら牛は2番となり、干支の順番は2番目になった。話が続いていく。

もの本によると、2021年は「辛丑(かのとうし)」である。この2つの文字が意味する2021年は、「辛」は続くが、一段落すれば、徐々に新しい知恵(アイデア)が湧いてくる。これは、世の中を大きく変えた新型コロナウイルスが、このまま収束に向かうことを暗示しているのかも?と、勝手に解釈している。

丑年は耐えた後に芽が出るとも言われる。東京オリンピックも大いに気になるところで、耐え抜く、まずコロナ禍からの脱出に総力を傾けないければならぬ。再認識させられたい。令和3年の正月である。







1月10日、はなもも体育館で古河市主催の、「成人式」が行われた。主催者はギリギリまで悩んだが、成人式実行委員を始め参加者の熱い思いを受け止め開催に踏み切った。

古河市内の成人者を旧3市町に振り分けて、式典の時間をずらしたり、父兄の

会場内参観を禁止とするなど、厳格なコロナ対策での開催であった。取材も会場内は許可が出ず残念ながら今年は皆さんにお伝えできなくなった。晴れ着を身に纏った新成人の皆さんは一様に式典に参加できホッとした表情であった。

一生に一度の記念日「成人式」が出来て良かった  
 コロナ禍の中、厳格な対策を施して式典が行われる

参加者の皆さんは久しぶりの再会とあって、積もり話に花が咲き会場の外は華やかな笑顔でいっぱいであった。

今回は、三密を避けるため集合写真の撮影も見送られた。しかしながら晴れ着姿をなんとか記念にと、マスクを外して記念撮影する姿が多く見られた。会場まで足を運んだ、ご家族の皆さんは感無量の面持ちでシャッターを押し続けていた。

今年成人を迎えた皆さんは平成12年生まれで、八俣小学校区では約80人が成人を迎えた。

今年成人した皆さんが生まれた西暦2000年(平成12年)には、シドニーオリンピックが開催されイチョー選手が大活躍したりとなり、サザンオールスターズのT.M.Kがデビューした。若者の間では腰パン、Gジャン、厚底ブーツなどが流行していた。

### ひばりくん防犯メール

茨城県警察二セ電話詐欺対策室からのお知らせです。

**「還付金詐欺に注意！」**

県内では、市町村職員や金融機関職員などをかたって、「医療費(保険料)の払い戻しがあります」「ATMで手続きできます」「操作方法を説明しますので、ATMから電話してください」などと言葉巧みに被害者をATMまで誘導し、携帯電話で指示通りにATMを操作させて犯人の口座にお金を振り込ませる還付金詐欺が急増しています。「ATMでお金が戻るとは詐欺」と覚えておき、一人で判断せず、警察に相談するなどして被害に遭わないよう十分注意してください。

古河警察署  
0280-30-0110

先日、発生した米倉行政区内の児童と車の接触事故を重く受け止めた八俣小学校からの要請を受け、早速行政区長さん及び地元市議の皆さんが道の管理課、道路協の地権者、地元子供会などに呼びかけ12月末までに児童の通学スペース確保に向け落ち葉回収や小障切りを実施した。写真右上は歩道部分が落葉で隠れ、立木の枝がせり出し、児童は車道にはみ出して登下校せざるを得ない状況であった。

写真右下は12月28日、地権者

学路が整備された。白線と、40キロ速度制限の表示が消えているため、当日、後始末に参加した地元市議さんから早急に回復するように土木事務所依頼して貰った。

米倉子供会では児童が自主的に安全な通学を確保するためにどうしたら良いかなどを子供たちにアンケート形式で問いかけるなど事故の再発防止に向けてソフト面での活動も開始している。

## 三和スターズ復活!

# いっしょに野球をやろうよ!!

☆女の子も大歓迎☆

野球を通じて仲間との絆を深め、礼儀作法を学び、体力向上に努め、子供たちの心と体を育みます。

対象者	◎	小学生
練習日	◎	毎週 土曜・日曜
場所	◎	東山田公園

八俣地区にあった少年野球チーム「三和スターズ」をもう一度やって欲しい、との声が多数ありましたので新たなチームとしてスタートします。

連絡先 ◆ 代表者:西川 光義 (前スターズコーチ)  
 TEL ◆ 090-2670-4544

### 児童を交通事故から守ろうと地域が立ち上がる

県と地権者、行政区、地元市議、子供会が連携して課題解決へ

の皆さんの協力でお障切りを実施。境界土木事務所も白線内の落葉の清掃を即座に実行してくれました。(県道のため、県の管理となっており)米倉の行政区長さんと保護者8人も参加して12月29日には路上の小枝などを清掃。写真上のごとく見通しの良い通学路が整備された。

### 茨城県緊急事態宣言 県内全域 1月18日~2月7日

県独自の緊急事態措置(対策)の内容 茨城版コロナNext Ver.2

<b>県内の不要不急の外出自粛 (継続)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内全域において、不要不急の外出・移動の自粛を要請</li> </ul>	<b>催物(イベント等)開催制限 (新規)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>イベントを開催する場合は、人数上限5,000人、かつ、収容率50%以下とすることを要請</li> <li>※COCOA、いばらきアマピエちゃん普及促進</li> </ul>
<b>営業時間短縮要請等 (取組)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内すべての飲食店に対し、午後8時から午前5時まで営業自粛(酒類の提供は午後7時まで)を要請</li> <li>※テイクアウトとデリバリーは午後8時以降も営業可</li> </ul>	<b>他都道府県との不要不急の往来自粛等 (継続)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急事態宣言が発令されている都道府県との不要不急の往来自粛を要請</li> <li>直近1週間の陽性者が人口10万人あたり15人を超える都道府県との往来(通勤・通学含む)の際は、感染症対策を徹底するなど特に注意するよう要請</li> </ul>